

「たのしいって
どういうこと？」



「友だちは 多いほうがいい？」

「人助けのためでも
うそをついてはいけない？」

「戦争は どうして起こるの？」

進行役の先生：^{かわさきさとし}川崎惣一先生（宮城教育大学教授）
会を準備する先生：川口茂雄先生（甲南大学准教授）

会場地図：甲南大学 18号館 人間科学研究所



阪急岡本駅から徒歩10分 JR 摂津本山駅から徒歩12分

お問い合わせ: kihs@center.konan-u.ac.jp

今年の夏休みにNHK Eテレで番組「Q こどものための哲学」が放送されるなど、いま「子どもの哲学」が注目されています。英語の「philosophy for children」を略して「p4c」（ピーふぉーしー）とも呼ばれます。

ここ十年ほどで、大人を対象とした「哲学カフェ」が日本でもさかんにおこなわれるようになってきました。「子どもの哲学」は、その子ども版です。それと同時に、小学校の授業で「てつがく」を取り入れる例もはじまってきています。

発達心理学では、小学校高学年ごろは、抽象的な思考が発達する時期であると言われます。社会性や、数学的思考などが形成されるということですが、これはつまり、他者の視点、いまの自分とは別の視点からものごとを考えられるようになる、ということです。これからの時代は大学の入学試験などでも、ディスカッションをして意見を述べたり聞いたりすることを重視する方向にむかっています。

安心して、遠慮したり恥ずかしがったりせずに自分の意見を言える場所、そして同じように他の人の意見に耳をかたむけることが自然とできる場所、そうした場をもうけることで、子どもの自由な思考がよりのびのびと活動をはじめるきっかけになるよう、この10月、甲南大学人間科学研究所では初めて「子どもの哲学」を開催します。

こ てつがく 子どもの哲学



in 神戸市・東灘区

こうなんだいがく

甲南大学

どようび

2017年10月21日（土曜日）


午後3時00分～3時50分

場所：甲南大学 18号館

にんげんかがくけんきゆうしよ
人間科学研究所 3階講演室

対象：小学校4年生～6年生の人

（1年生～3年生や保護者の人も、けんがく見学できます！）


みんなで いろんなことを 考えよう！

予約不要・参加自由です。

